

2020年 1月 28日

報道関係者各位

 株式会社東急コミュニティー
 株式会社リンレイ

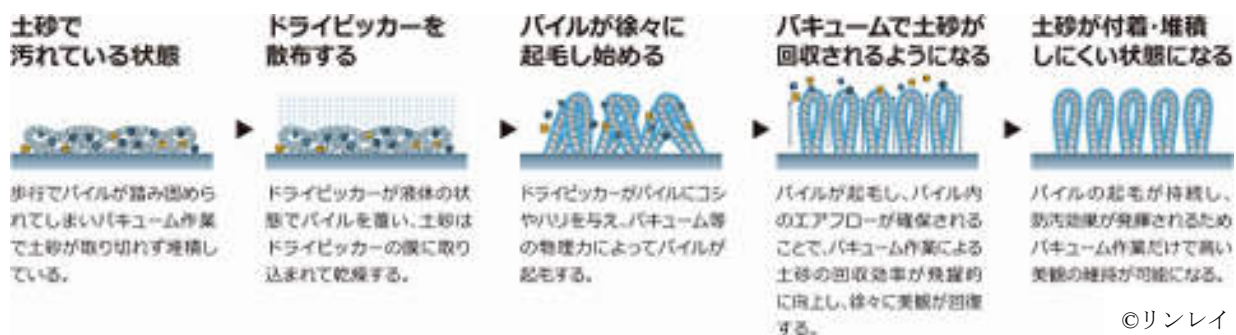
～オフィスビル清掃の品質向上に向けた取り組み～
**東急コミュニティーとリンレイが、清掃ロボットの性能向上を目的に
 ケミカル剤の実証実験を開始**

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）と、株式会社リンレイ（本社：東京都中央区、社長：鈴木信也）は、オフィスビルにおける清掃の品質向上を目的に、東急コミュニティーの研修施設「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA」において、ケミカル剤を使った清掃ロボットの実証実験を開始いたしましたのでお知らせいたします。

ケミカル剤について

東急コミュニティーは、全国でビル、マンションなどの管理を行う総合不動産管理会社です。清掃作業の際、特にカーペット床の清掃にあたっては、パイル（織物表面をおおう柔らかい立毛）の汚れの除去が課題になっていました。汚れは歩行者の靴底から持ち込まれた土砂が大半を占めていますが、歩行でパイルが踏み固められてしまい、吸塵（バキューム）作業だけでは土砂が取り切れず堆積してしまうため、年2回程度、洗剤を使った洗浄作業が必要になります。洗浄作業は、表面が乾くまで人の立ち入りを制限しなければいけないこと、また、洗浄によりカーペットの劣化が生じることが難点でした。

リンレイが開発したカーペット用ケミカル剤「ドライピッカー」は、パイルをコーティングしてパイルへの土砂・汚れの絡み付きを防ぎ、パイルを起毛状態に保つことができます。これにより、バキューム時のパイル内エアフロー（空気の流れ）が向上する事で吸塵能力を向上させ、土砂や汚れの回収効率を高める機能があります。また、日々のバキュームだけで汚れが除去できますので、美観の維持、向上が図れるとともに、洗浄作業が不要になることで、カーペットの劣化を防ぎ、延命にもつながります。



東急コミュニティーでは、オフィスビルにおける清掃作業の品質向上を目的として、清掃ロボットの導入を開始しています。清掃ロボットは、ムラなく均質な清掃ができるという利点がありますが、汚れ

を見極めて強弱をつけて清掃することは不向きなため、それを補う補助剤として「ドライピッカー」の使用が有効と考え、東急コミュニティーの研修施設「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA」において、リンレイと協業で実証実験を開始しました。施設内のカーペット床の一部にドライピッカーを散布したうえで清掃ロボットを使用し、散布なしのエリアと比較して汚れの付き方を比較しながら、散布量・散布頻度や濃度について検証をしています。ドライピッカーを使用することでより清掃の品質向上に効果が見込めることが実証できれば、清掃ロボットと併せ、ドライピッカーの利用も推進していく計画です。

「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA」について

「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA」は、技術面での提案力強化、人材育成を目的とした東急コミュニティーの研修施設です。「建物そのものが研修素材」をコンセプトに、技術員の研修や、実証実験の場として活用しております。

今後も、施設を活用して品質向上や業務効率化につながる各種施策を検証しながら、お客様の施設特性に合った提案を行い、快適な環境づくり、資産価値の維持向上に努めてまいります。

【会社概要】

名称	株式会社東急コミュニティー
所在地	東京都世田谷区用賀四丁目10-1
代表者	雑賀 克英
資本金	16億5,380万円
事業内容	マンションライフサポート事業、ビルマネジメント事業、リフォーム事業

名称	株式会社リンレイ
所在地	東京都中央区銀座4-10-13
代表者	鈴木 信也
資本金	1億円
事業内容	業務用・家庭用・自動車用・工業用コーティング剤、ワックス、洗剤等 各種ケミカル製品の研究・開発・製造・販売・輸出、 各種メンテナンス用機器（マシン）の開発・製造・販売

【リリースに関するお問合せ】

株式会社東急コミュニティー 経営企画部広報センター 担当：伊藤

株式会社リンレイ 業務製品事業部 担当：鈴木（宏至）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。